

○ 令和元年10月豪雨をはじめとする近年の激甚な水害や気候変動による水害の激甚化・頻発化に備え、都川水系において、ハード・ソフト一体となった事前防災対策を加速していくために、以下の取り組みを実施していくことで、年超過確率1/10程度（ただし、都川の河口から坂月川合流点は1/50程度）の規模の洪水を安全に流下させ、流域における浸水被害の軽減を図る。



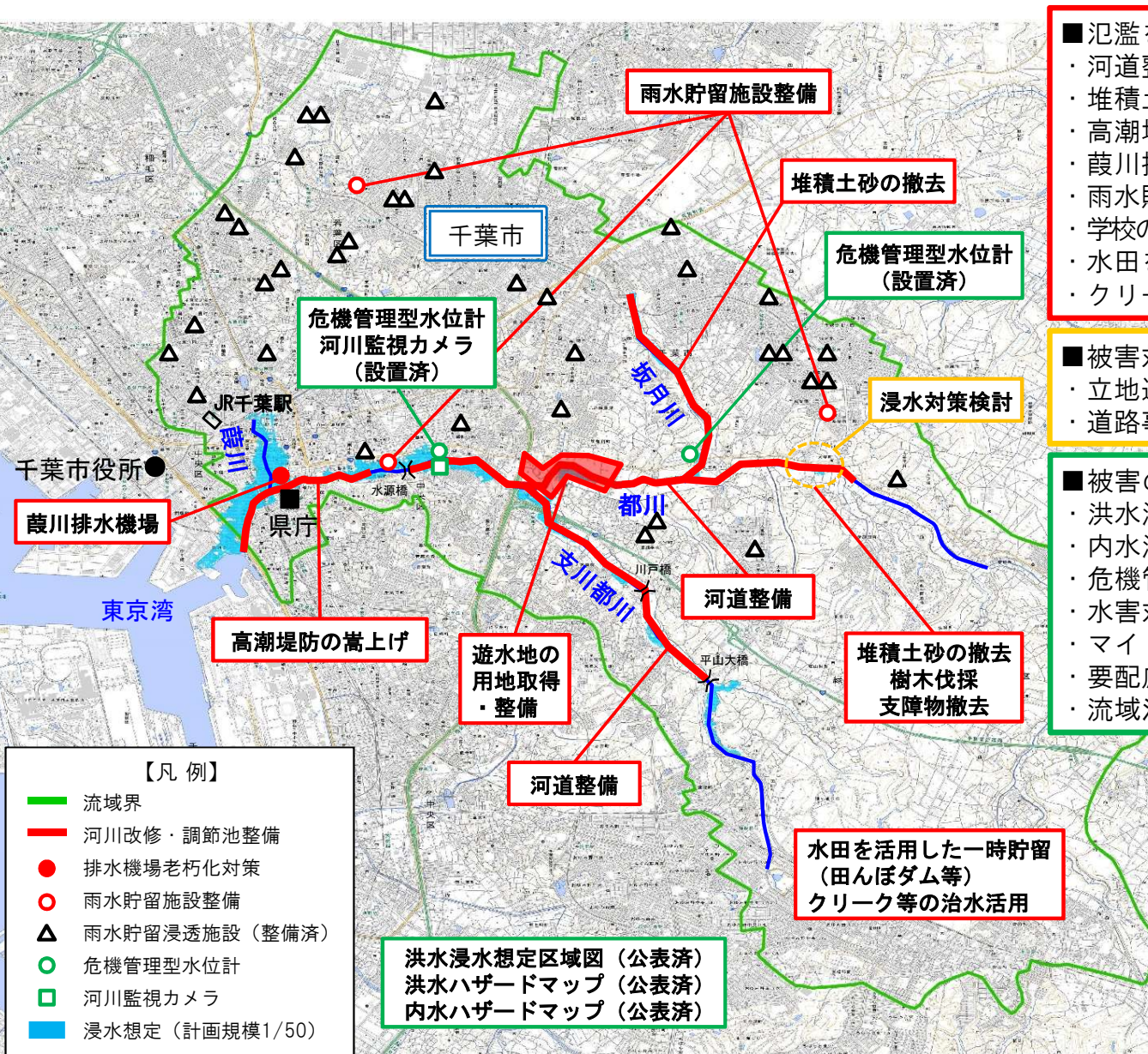
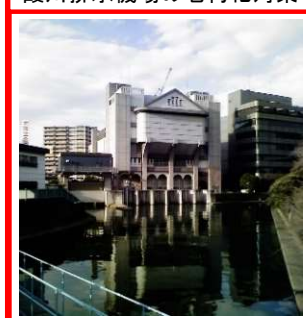
【平成3年】千葉中央駅付近



【平成8年】大草橋付近



葭川排水機場の老朽化対策



■ 氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策

- ・河道整備、遊水地の用地取得・整備
- ・堆積土砂の撤去、樹木伐採、支障物撤去
- ・高潮堤防の嵩上げ
- ・葭川排水機場の老朽化対策
- ・雨水貯留施設整備
- ・学校の校庭等を活用したオンサイト貯留（整備済）
- ・水田を活用した一時貯留（田んぼダム等）
- ・クリーク等の治水活用

■ 被害対象を減少させるための対策

- ・立地適正化計画の改定（防災指針を記載）
- ・道路事業と連携した浸水対策検討

■ 被害の軽減、早期復旧・復興のための対策

- ・洪水浸水想定区域図、洪水ハザードマップ
- ・内水浸水想定区域図、内水ハザードマップ
- ・危機管理型水位計、河川監視カメラ
- ・水害対応タイムラインの活用
- ・マイ・タイムラインの作成支援
- ・要配慮者利用施設の避難確保計画作成支援
- ・流域治水に関する啓発・教育

都川多目的遊水地の用地取得・整備



【凡 例】

- 流域界
- 河川改修・調節池整備
- 排水機場老朽化対策
- 雨水貯留施設整備
- 雨水貯留浸透施設（整備済）
- 危機管理型水位計
- 河川監視カメラ
- 浸水想定（計画規模1/50）

- 都川水系では、県、市が一体となって以下の手順で「流域治水」を推進する。
 - 【短期】河川における対策として、都川（支川都川下流）、支川都川（川戸橋下流）の河道整備を推進するとともに、都川や坂月川の堆積土砂の撤去等を実施する。また、下水道における対策として、雨水貯留施設整備を推進する。
 - 【中期】都川河口部の高潮堤防嵩上げ、都川（支川都川～坂月川合流点）及び支川都川（川戸橋～平山大橋）の河道整備を進める。
 - 【中長期】引き続き、都川上流部に向けて河道整備を進め、整備計画区間の完了を目指す。また、葭川排水機場の老朽化対策を計画的に実施していく。
- あわせて、水田を活用した一時貯留（田んぼダム等）やクリーク等の治水活用を推進するとともに、マイ・タイムラインや避難確保計画の作成支援などのソフト対策を実施する。

区分	対策内容	実施主体	工程		
			短期	中期	中長期
氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策	河道整備、遊水地の用地取得・整備	千葉県・千葉市	～支川都川・～川戸橋	～坂月川・～平山大橋	坂月川～
	堆砂土砂の撤去、樹木伐採、支障物撤去	千葉県・千葉市	大草橋付近・坂月川	定期的に実施予定	
	高潮堤防の嵩上げ	千葉県	河口～水源橋下流		
	葭川排水機場の老朽化対策	千葉県	長寿命化計画に基づき計画的に実施		
	雨水貯留施設整備	千葉市	整備予定		
	水田を活用した一時貯留(田んぼダム等)	集落活動組織等	千葉県と千葉市が実施主体に対し取組拡大を促進		
	クリーク等の治水活用	施設管理者等	千葉県と千葉市が実施主体に対し取組拡大を促進		
被害対象を減少させるための対策	立地適正化計画の改定(防災指針を記載)	千葉市	改定・運用	定期的に見直して運用	
	道路事業と連携した浸水対策検討	千葉県・千葉市	検討・準備・整備予定		
被害の軽減、早期復旧・復興のための対策	危機管理型水位計、河川監視カメラ	千葉県・千葉市	増設予定	定期的に更新予定	
	水害対応タイムラインの活用	千葉県・千葉市	継続して実施		
	マイ・タイムラインの作成支援	千葉県・千葉市	継続して実施		
	要配慮者利用施設の避難確保計画作成支援	千葉市	継続して実施		
	流域治水に関する啓発・教育	千葉県・千葉市	継続して実施		

【事業費(R3以降の残事業費)】

■河川対策
全体事業費 106億円
河道整備、高潮対策等

■下水道対策
全体事業費 25億円
雨水貯留施設整備

気候変動を踏まえた
更なる対策を推進

【事業費(R3以降の残事業費)】

- 河川対策
全体事業費 106億円
河道整備、高潮対策等
- 下水道対策
全体事業費 25億円
雨水貯留施設整備

気候変動を踏まえた
更なる対策を推進